

5.<決議事項>

公益財団法人すみれ学級  
2019（令和元年度）事業報告

すみれ学級開設・運営の基本方針の遵守

1. (1) すみれ学級創業の志の持続的発展

現在、我が国では子どもの7人に一人が相対的貧困状態にあり、子どもたちを養育する世帯のうち、ひとり親世帯とりわけ母子世帯は2世帯に1世帯が相対的貧困状態の中で生活を余儀なくされているといわれており、子どもやひとり親世帯の貧困が大きな社会問題となっている。

子どもの将来がその子には何らの自己責任もないにも拘わらず、その生まれ育った環境によって左右されるような不条理があってはならず、すべての子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに教育の機会均等を図ることは、社会全体の責務となっている。

このような状況を深く憂え、日本の未来を担う子どもたちの健やかな育成を図るために、子どもたちの「食」の確保と、学習支援、居場所づくりや生活相談に応じるため、大分市敷戸教室において「すみれ学級（1組）」を立ち上げ、平成29年5月に一般財団法人すみれ学級となった。

その後、理事・評議員となっておられる皆様を中心に、平成29年8月に大津教室（2組）を、同30年2月に小池原教室（3組）を開設し、平成30年4月には、悲願であった公益財団法人の認可を県から付与され、子ども食堂、子どもの学習支援、及びこどもの居場所づくりを進める団体として、本年度着実な事業運営を進めてきた。

(2) 新型コロナウイルス感染症禍の子ども食堂の持続的運営

人類の歴史は感染症との戦いの歴史であると言われていたが、中世のペスト、前世紀初めのスペイン風邪、そして10年前の新型インフルエンザ、さらにはサーズ、マーズなどに見られるように、地球規模の感染症災害がこれまでも幾多となく発生しており、今日でもアフリ

カなど多くの国でマラリヤ、結核、エボラ出血熱などにより大切な人命が数多く失われている。今般の新型コロナウイルス感染症は、我が国においては感染者数 16,884 人、死亡者 892 の災禍のうちに、とりあえず緊急非常事態宣言は解除されたが、世界的には感染者 627 万人、死亡者 37.6 万人の猛威の中で、依然として感染拡大が続いている。(※感染者数・死亡者数は 6 月 2 日現在)

いつの時代にあっても、このような感染症で真っ先に被害を受けるのは、感染症弱者である乳幼児などの子ども達や高齢者、障がい者である。

とりわけ、重要な課題となるのはこのような感染症災害の中で、貧困状態にある子ども達の「食」の確保である。未曾有の災禍となった今回の新型コロナウイルス感染症は、地震、台風などの自然災害と異なり、観光、交通、宿泊、飲食をはじめ、あらゆる産業が壊滅的打撃を被ったために、仕事が瞬時に蒸発し、失業者が街に溢れる事態となっている。このため「食」のみならず「住」にも事欠く人が大勢出現している。子どもたちにとってさらに追い打ちをかける問題として「学校の休校措置」が全国で取られたことである。学校の休校は取りも直さず『学校給食が中止される』ということであり、3月から5月まで既に3ヶ月間中断している。子どもの貧困の実態として1日1食学校給食しか食べていない子も少なくないと言われている中で、今回のコロナ禍でその1食が奪われ、職を失ったシングルマザーの中には、自分の食事を削って子どもに食事を与えたという話まで伝わってきている。

こうした中、全国4千弱の子ども食堂の大半は感染の拡大を恐れ断腸の思いで休止している。それはやむを得ないことであるが、すみれ学級は子ども食堂の開催を目的とした公益財団法人であり、創業の志に照らし、可能な限り子ども達に「食」の提供を続けることとし、大分市内の3つの学級では通常通り開催することが出来た。これもひとえに、ご支援いただいた皆様のおかげであり、厚くお礼申し上げます。

今秋冬にもコロナ第2波、第3波の襲来が予測されているが、私達すみれ学級は、どんな時代が来ても子ども達のために、その全力を尽くし、暗夜の一灯として、子ども達の未来を照らし続ける灯台の役割

を果たしてまいりたいと考えております。

## 2. すみれ学級の発展的展開

すみれ学級の拡大前進は、とりもなおさず家庭において孤食に耐え、食に苦しみ、学校教育との立ち後れに戸惑う子どもたちとその保護者にとって、ほのかな灯りではあるが、暗夜の一灯として、市町村、学校当局、地域自治会及び福祉関係篤志家の方々の協力のもと、平成30年6月には、別府市において本別府はるかぜ教室（4組）を開設した。

\*別府はるかぜ教室は、社会福祉法人洗心会理事長矢野昌弘氏の全面的協力をいただいで開催できましたことを、重ねて厚くお礼申し上げます。

なお、今般の新型コロナウイルス感染症に伴い、当該教室が特別養護老人ホームの一角をお借りしているということから、去る3月以降教室は中断しておりましたが、洗心会矢野理事長様のご英断により、5月11日に再開いたしました。

## 3. すみれ学級の量的・質的充実

マスコミ報道等によれば、深刻ないじめによる子どもの自殺が後を絶たず、親や養父母等による虐待件数が戦後最大といわれている今日、絶えず子ども達に目を向け、子どもの心身の健康に留意し、子どもとその保護者が社会的に孤立し、ひとりぼっちで放棄されることのないよう、本財団では新たな事業を展開してきた。

### (1) ふれあい子どもカフェの開催

#### ア 野口ふれあい子どもカフェ

平成30年10月から別府市、別府市教育委員会、別府市社会福祉協議会と連携し、旧野口小学校跡地において毎週日曜日11時から15時まで、昼食の提供と、学習支援を開始したところであり、子ども達や地域住民から新たな試みとして歓迎されている。

なお、新型コロナウイルス感染症により、別府市内の公民館施設等の閉鎖により去る3月7日より休止している。（6月7日より再開）

## イ 大津ふれあい子どもカフェ

すみれ学級大津教室についても、同様に毎週日曜日 11 時 30 分から 13 時 30 分まで昼食の提供を行った。なお、大津ふれあい子どもカフェは、努力を尽くしましたが、児童・生徒が十分には集まらなくなったことから、去る 9 月より一時休止としている。

## (2)子ども達の健康と地域からの要望に応じた「朝食」の提供

大分市小池原教室においては、登校前の子ども達に朝食を提供し、発育期の子ども達の栄養の確保と不登校傾向の子供達への支援としても、学校関係者から感謝されている。

## (3)別府はるかぜ教室における土曜日の昼食提供

本年度も夏休み期間中、毎週土曜日に子供達に昼食を提供した。これは、当該地域の主として「光の園放課後児童クラブ」からの要請により、土曜日に放課後児童クラブの子ども達に昼食を提供できないかという切実な願いに応えたものである。このことは今後、夏休みなどの長期休暇中における子ども達の「食」の確保について、重要な示唆を私たちに与えている。

## (4)三重町すみれ学級（5組）

豊後大野市在住の篤志家から駐車場付きの家屋を無償提供していただいております、場所は豊後大野市三重町市場の三重第一小学校から徒歩数分という適地である。大分市、別府市の子ども達に限らず、可能な限り子どもの貧困に手当てしていくという創業の志から昨年 1 月 15 日に開設し、すみれ学級 5 組として継続している。

なお、新型コロナウイルス感染症により、三重第一小学校が休校になったことから去る 3 月より休止していたが、4 月 11 日より再開している。

#### **(5)岩田町すみれ学級 (6組)**

大分市岩田町在住の篤志家からマンションの1室であるが、子ども食堂として子ども達に提供したいとの要望があり、令和元年4月から実現に至ったものである。小規模な学級であるが、地域の子どもの食の確保と学習の場として機能している。

なお、新型コロナウイルス感染症により、去る3月10日より休止している。(6月12日より再開)

#### **(6)女子児童・生徒に対する生理用品の無償配布**

人間は尊厳を失ってはならず女子児童・生徒が生理用品に事欠くということは、食の尊厳とは別の次元で女性としての尊厳の問題に帰するものと考えている。女子児童・生徒の生理用品の欠如に関する正確な統計は発表されていないが、英国では10人に一人の女性が生理用品を買っていないという報告もあり、我が国でも子どもの貧困実態から見て、生理用品の欠如という事実が発生していることが想像される。こうしたことから、すみれ学級では、小学校4年生以上の女子児童・生徒に対し、その保護者あてに、厳重封緘して隔月1度生理用品の持ち帰りを実施している。なお、この生理用品は株式会社G-Placeからのご好意により、定期的に現物ご寄付をいただいている。

#### **(7)子ども達の歯科衛生の徹底**

食事後の歯磨きについては、かねて懸案であったが、本財団としても、これに取り組んでいる。

しかしながら、すべての教室に歯磨きを行う手洗い場が確保できないことから、歯科衛生士さんによる各教室巡回の「正しい歯磨き指導」を行ったほか、三重教室では食後歯磨きを実施している。なお、歯ブラシは歯ブラシメーカーから無償提供いただいている。

#### **(8)大分大学経済学部学生による学習・進学指導及び大分大学経済学部との連携の継続**

5.<報告事項>③

公益財団法人すみれ学級  
2019年度（令和元年度）参加者数実績

2019年（令和元年）度すみれ学級開催実績			
様態	名称	開催頻度・曜日	開催日数
夕食	すみれ学級1組（敷戸教室）	週3回 月・水・金	144
	すみれ学級2組（大津教室）	週3回 月・水・金	141
	すみれ学級3組（小池原教室）	週3回 月・水・金	143
	すみれ学級4組（別府はるかぜ教室）	週3回 月・水・金	132
	すみれ学級6組（岩田教室）	週2回 火・金	91
朝食	すみれ学級3組（小池原教室）	週3回 火・木・土	149
	すみれ学級5組（三重教室）	週5回 月～金	224
昼食	野口ふれあい子どもカフェ	週1回 毎週日曜日	47
進学教室	すみれ学級1組（敷戸教室）	週2回 木・土	101
合計			1172

実績数

年間参加児童・生徒数 11,238 人

食事提供（見込）数 11,238 人

スタッフ総数 調理生活指導員 21 人

学習指導員 22 人

5.<報告事項>④

2019 年度（令和元年度）  
すみれ学級 概要と報告

## 概要と報告

すみれ学級1組（敷戸教室）																	
開催場所	大分市敷戸西町1182-298										開設日	2016年8月					
開催日 と 開催内容	月・水・金										夕食の提供と学習支援						
	木・土										中学生対象の進学教室						
在籍 スタッフ	調理・生活指導員					3人											
	学習指導員					13人					専任2名+大分大学経済学部生など11名						
参加者 数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数	
	夕食	179	181	195	173	123	153	223	252	264	180	165	156	2244	144	15.6人	
	進学教室	33	30	26	38	30	26	51	48	44	46	71	26	469	101	4.6人	



### 「集中する時間」

1組には中学生もたくさん来ます。大学生のお兄さん、お姉さんがじっくり勉強を教えてください。進学教室に1年生から通っている熱心な生徒もいます。そして、今年も公立高校の推薦入試で1名合格、内定が出ました

### 「成長した子どもたち」

1月末、静岡の磐田市議会協議会から視察のお客さんがいらっしゃいました。食事後、その関係で、子どもたちが廊下で待機する時間が数分だけありましたが子どもたちは騒がずに待っていることができるようになっていました。開設当時から指導にあっている学生は、「以前は騒いでしまっていた。成長した」と嬉しそうに話していました。磐田市議会の議員の方は、「自分たちの市でも週1回の子ども食堂を実施し、学習支援もしているが、市の委託事業で行っている。独力で実施されていることに大変感心しました」とおっしゃっていました。



## 概要と報告

すみれ学級2組（大津教室）																
開催場所	大分市大津町1-3-11										開設日	2018年2月1日				
開催日と開催内容	月・水・金										夕食の提供と学習支援					
在籍スタッフ	調理・生活指導員					2人										
	学習指導員					1人										
参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数	
	56	90	89	54	63	83	75	35	33	12	28	37	655	141	4.6人	



### 「ハロウィンパーティー」

大きな歓声があがりました。  
 この日はハロウィンパーティー。  
 夕食は特別メニュー。  
 美味しそうに並んでいます。  
 もう一つのメインは、  
 ビンゴ大会。  
 おもちゃ争奪ゲームでした。  
 12人が楽しい時間を過ごしました。

### 「節分の豆まき」

2月3日、このところ参加人数の少ない大津教室にも、4人の子どもたちが豆まきにやってきました。先生を鬼に見立てて豆まきした後、調理の先生手作りの恵方巻を美味しくいただきました。



## 概要と報告

すみれ学級3組（小池原教室）																		
開催場所	大分市小池原団地集会場											開設日	2018年2月1日					
開催日 と 開催内容	月・水・金											夕食の提供と学習支援						
	火・木・土											朝食の提供						
在籍 スタッフ	調理・生活指導員					4人					基本は朝食2名、夕食2名							
	学習指導員					1人												
参加者数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数		
	夕食	134	118	127	159	119	134	178	175	116	132	146	134	1672	143	11.7人		
	朝食	75	113	118	129	84	98	116	93	67	59	58	98	1108	149	7.4人		



### 「朝食も・夕食も」

3組小池原教室は月・水・金の夕食と、火・水・木は朝食を提供しています。こどもたちはほぼ毎日ここへきて、食事をしたり、勉強したり。

学校とおうちのほかの、もう一つの居場所として、すみれ学級に通っているようです。

### 「懐かしい顔」

1年半ば、小学校卒業以来2年ぶりに、中学2年生の生徒2名の参加がありました。

団地の真ん中の小池原教室。懐かしい顔もありつつ、たくさんの子どもたちでにぎわっています。



## 概要と報告

すみれ学級4組（別府はるかぜ教室）																
開催場所	別府市鶴見8-5 別府高齢者ケアセンターはるかぜ内										開設日	2018年6月1日				
開催日と 開催内容	月・水・金										夕食の提供と学習支援					
在籍 スタッフ	調理・生活指導員					4人										
	学習指導員					4人										
参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数	
	199	181	202	203	185	128	175	153	153	175	180	0	1934	132	14.7人	

### 別府のこどもたち

はるかぜ教室は別府市内7つの小学校から子どもたちが集まって、食事と学習をしています。入居者の方との交流が特色で、この日は83歳のおばあちゃんが読み聞かせをしてくださいました。集まって静かに聞き入るこどもたちでした。



### 「パプリカダンス」

クリスマス会の準備が盛んになってきたころ、はるかぜでは子どもたちがパプリカダンスの練習をしていました。披露する対象（入居者様）がいることで、子どもたちもイベント準備に熱心になるのがはるかぜの特徴のようです。

## 概要と報告

すみれ学級5組（三重教室）																	
開催場所	豊後大野市三重町市場1509-1 （三重第一小学校裏）										開設日	2019年1月15日					
開催日と 開催内容	月 ～ 金										朝食の提供						
スタッフ	調理・生活指導員					4人					シルバー人材センターからの派遣職員						
参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数		
	203	214	249	209	91	246	328	291	256	168	137	0	2392	224	10.7人		



### 「夏休みスペシャル」

夏休みに入って1週間。  
 今日子どもたちは元気に  
 やってきました。  
 今日のメニューは、夏休み  
 スペシャル。  
 三色どんぶり、おみそ汁に  
 杏仁豆腐・マンゴー。  
 子どもたちの顔は輝いてい  
 ました。

### 「1周年」

5組三重教室は1月で一周年を迎えました。調理担当のKさんからコメントを頂きました。

「1月15日で1周年を迎えることができました。当初は人数の予定が立たなくて困惑しましたが、

今では大きく外れることもなく、子どもたちの元気な姿、楽しそうな姿に私たちも元気をもらっています！これからもスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。」





## 概要と報告

すみれ学級6組（岩田教室）															
開催場所	大分市岩田町1-7-7 サンライト岩田201号										開設日	2019年4月9日			
開催日と 開催内容	火 ・ 金										夕食の提供と学習支援				
在籍 スタッフ	調理・生活指導員					2人					調理のうち1名はボランティア				
	学習指導員 (ボランティア)					1人					金曜日のみ				
参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数
	14	11	11	38	28	48	39	37	26	43	41	7	343	91	3.8人

### 「アットホームな子ども食堂」

今年度の4月からオープンした岩田教室は、家主さんのご自宅の一室で開催されています。近隣の子どもたちがわいわいと、食事のメニューを発表したり、冗談を言い合ったりして楽しんでいます。

やはりご自宅ということもあって、とてもアットホームな雰囲気です。

子どもたちの表情も心なしかリラックスしているように感じます。



### 「おいしいものは最後に」

この日のメニューは白菜はさみ煮、天ぷらなど。でも小1児童の最後の楽しみは…白ご飯です。

「おいしいものは最後にたべる！」と宣言していました。

## 概要と報告

野口ふれあい子どもカフェ																
開催場所	別府市野口元町12-43 野口ふれあい交流センター										開設日	2018年10月7日				
開催日と 開催内容	毎週日曜日										昼食の提供					
在籍 スタッフ	調理・生活指導員					2人					無償ボランティア					
	学習指導員					2人					別府はるかぜと兼任					
参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数	
	31	29	54	43	17	35	35	28	32	49	64	4	421	47	9人	



### 「願いを込めて七夕飾り」

今日は七夕。みんな、短冊に書きました。しばらく考えています。書いたあと「見ないで!」「字」「宿題」「苦手な理科」「100点」など。「嵐」や4文字のカタカナなどもありました。

熱心に折り紙をした児童もいました。近くにある母子ホームから通っている子もいます。地域のコミュニティセンターでの開催は、垣根が低く通いやすいようです。

### 「バースデーカードでお祝い」

誕生日を迎えた3人のお友達を、歌とケーキとバースデーカードでお祝いしました。

カードに書かれた「ひとこと」をじっと見ている児童もいました。

